

古文書やお寺について知りたい人に



古文書フィールドワークの参加者募集

丹波古文書倶楽部

このたび、山南町の名刹萬松山慧日寺住職様のご協力を得て、当倶楽部の活動の一環として、当寺に伝わる貴重な古文書等を拝見させて頂くとともに禅宗の由緒ある建物・庭園等についても鑑賞・解説の場を設けることとしました。

・ 萬松山 ^{えにちし} 慧日寺

慧日寺は、永和元年(1375年)足利三代将軍の管領細川頼之と弟で養子の頼元により建立された。開山の特峯禅師は、鎌倉の円覚寺開山仏光国師の孫弟子であり、中国より帰朝この地で庵を結び大衆教化に努めた。県指定の文化財でもある慧日寺仏殿は、元禄十五年(1702年)に再建されたもので、方一間一重裳階付き檜皮葺き入母屋造りで、ほぼ完全な禅宗様式の建物で県内では稀なものです(丹波市観光協会) 寺蔵文書には「徳川家御朱印状」八代将軍吉宗より十四代将軍家茂までの寺領安堵の朱印状。安永二年の「丹波氷上郡久下縣萬松山慧日禅寺略記」寛政二年の「境内絵図」等がある。

初めて古文書を見る人、古文書を読みたいけれど読めない人などの初心者をはじめ、仏教建築や庭園等に興味を持たれている方の参加を募集いたします。

1 開催日時

平成29年10月14日(土) 13:30~16:30(予定)

2 集合場所 萬松山 慧日寺

住所:丹波市山南町太田127-1

*JR谷川駅前、右先のJA久下店より右折400mつきあたりを左折、県道77号線を1,5k進みトンネル直前で右折(小標識あり)集落内道路を山に向かい進むと山内の駐車場に着きます。

3 研修・調査場所(予定)

慧日寺の由緒、建造物等の説明解説、寺宝、古文書等の鑑賞等。

4 申込み方法等

・ 申込方法

参加者の住所(町名)・氏名・電話番号を当倶楽部役員あて電話、e-mail等でご連絡願います。

・ 講師等(予定)

- (1) 講師 師 ご住職の門脇靖巖様
(2) 建物解説 説 友井社寺工芸社長(当会会員友井辰哉氏)

・ 参加費 300 円 (当日支払い)

5 募集定員 概ね50名(当倶楽部参加者含む)

6 締め切り 募集定員に達した時

7 倶楽部役員 代表 岸 孝明 電話 090-8882-5537 e-mail t.kishi@cello.ocn.ne.jp